

第26回千葉元気印企業大賞

受賞企業決まる

千葉県の活力ある企業を表彰する「第26回千葉元気印企業大賞」(主催:フジサンケイビジネスアイ 共催:千葉興業銀行 特別協賛:千葉ロッテマリーンズ 協賛:鴨川シーワールド 千葉工業大学)の受賞企業が決まり、大賞・千葉県知事賞は看板の企画、デザイン、製作、施工を手掛ける協同工芸社が受賞した。大賞・千葉県知事賞には副賞として50万円、各部門賞には15万円、特別賞(地方創生賞)には10万円が贈られる。このほか、奨励賞を含む全受賞企業には特別協賛の千葉ロッテマリーンズから観戦チケット、協賛の鴨川シーワールドから入場券が贈呈される。各受賞企業は次のとおり。(カッコ内は代表者名、所在地、電話番号)

審査委員講評

高橋輝子・千葉県商工労働部産業振興課課長
今回も大賞の協同工芸社をはじめ、多くの優れたご応募をいただきました。
特に今年は新型コロナウイルス感染症の拡大のなかで、技術開発や事業展開にご苦労される面も多かったかと思いますが、そうしたなかでもピンチをチャンスに転換するようなユニークな取り組みや、地域貢献に資する事業など、様々なチャレンジを拝見し、大変心強く感じました。
これからも「元気印」の名にふさわしい、本県経済を元気づける企業が数多く育っていくよう期待しています。

業岡部備一・千葉県産業振興センター理事長
コロナ禍という特殊な環境の中、千葉で元気に活動している多くの企業の姿を拝見することが出来ました。
優秀技術賞をはじめ、どの部門にも素晴らしい内容があり、今後、大きな成長を期待させる企業が見られたことが印象に残りました。
企業の方々の新しい技術・製品やユニークで意欲的な経営は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ経済の活性化につながるものであり、今回応募された企業の方々の今後の活躍を大いに期待します。

島村社樹・千葉県商工会議所連合会事務局長
今年は、新型コロナウイルス感染症の流行という未曾有の事態が発生し、業種を問わず、あらゆる企業が多大な影響を受けました。
そんな中でも、それに対応し、むしろそれを契機として新商品・新サービスを開発し、そうして躍動する各企業の取り組み等を拝見すると、それだけでこちらも元気をもらえる気がします。
応募企業の皆様には、今後も元気な企業活動を続けていただき、千葉県、ひいては日本の経済を盛り上げていただきたいと思っております。
最後になりましたが、大賞や各部門賞、奨励賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。また、惜しくも賞を逃した皆様の取り組み等も素晴らしいものばかりで、今後とも継続・発展していくことを願っています。

渡部茂樹・千葉県経営者協会専務理事
今年も優れた技術を持ち、素晴らしい経営をされている企業を多く拝見し、元気を与えられました。
特に今年はCOVID-19への対応や、自然災害への対応、地球環境への配慮など今後ますます重要性が高まるものが多く、審査は非常に難しいものでした。今後も前向きで元気あふれる企業の更なる発展を心より期待しています。

能美勝博・千葉県中小企業団体中央会事務局長
コロナ禍の、「新しい生活様式」が求められる中で、異業種の分野において自社の経験と技術、更には営業力を駆使して、社会的に求められている商品を開発、提供している企業は素晴らしいと思う。
協同工芸社の各種製品、塚本の備蓄タンクなどは社会的貢献度が高い。また、紀伊力国屋は地域特性を生かした魅力ある旅館を経営していると思います。他にも、さくらんぼ教室は信念ある運営経営を遂行素晴らしい。ピーナツ加工、溶接ロボット生かされと小次郎など、中小企業ならではの独創的な知恵が生かされていて感心しました。

西田篤司・国立大学法人千葉大学学術研究イノベーション推進機構副機構長・特任教授
千葉県に元気な企業様があんなにあることを知り、大変嬉しく思いました。
それぞれの企業様は皆、独自のアイデアをお持ちで甲乙つけがたい内容です。
ただ、審査ですべて内容は優れていても見せ方に工夫がないというまく伝わらないケースが見え方に思います。
今回賞を逃した企業様もぜひ、見せ方に工夫を凝らして再チャレンジしていただきたいと思っております。

渡辺昇・千葉県経営品質協議会常任幹事
コロナ禍によって市場は変質し、各企業の成長を支えているコア・コンピタンスとケイパビリティの有効性を常に検証しなければなりません。
市場構造変化、競争構造変化、技術構造変化、制度構造変化、これらの4つの構造変化に対して、申請企業はどのように認識し、対応しようとしているのかを評価の視点としました。
本賞への申請プロセスを通じて、自社の認識交代が促進されれば幸いです。

柳内光子・千葉元気印の会代表 山一興産株式会社
今回の千葉元気印大賞に50社もの多くの企業が応募されたことには感謝いたします。新型コロナウイルスの感染拡大で経済環境が一変しました。このコロナ禍で私たちの働き方も一変し、多くの企業にとって仕事の在り方を根本的に変革する大きな要因となりました。そのようななかでも危機的状況の変化に素早く対応し、今回応募された企業のように機会を逃さず事業拡大している企業も多くみられます。秀でた商品、高い技術、柔軟な発想をもって、改革は実現できるものと信じています。

【千葉元気印企業大賞・千葉県知事賞】

◇協同工芸社

(箕輪晃氏、千葉市美浜区新港152、TEL043・242・1675)

〈受賞理由〉 新型コロナウイルス感染拡大の中、従来の看板製作の企画・デザインから製造施工までの社内一貫体制のノウハウを生かし、ピンチをチャンスに転換するようなユニークな取り組みとして、エアロノルボックスという社会的に求められている商品を医療機関と連携しつつ開発し、全国の医療機関に50台無料配布した。それをきっかけに「PCR検査ボックス」の製作依頼など様々な感染症対策器具の開発・製造を手掛けるようになり、新型コロナウイルスの最前線で戦う医療現場へ多大なる貢献をしている。



【優秀製品・サービス賞】

◇塚本

(塚本恭夫氏、千葉市中央区新田町16-7、TEL043・242・8221)

〈受賞理由〉 自然災害が増加している昨今の状況を鑑み「エネルギーと防災」をテーマに事業を推進。非常用発電機用備蓄タンクを開発。その優れた免震機能、デザイン性、コンパクト設計、ワンストップサービス、二重殻構造と石油卸売という本業のサポート体制が確立されている事が評価された。



【奨励賞】

優秀製品・サービス部門

◇三英

(三浦眞氏、千葉県流山市おおたかの森北1-8-6、TEL04・7153・1511)

〈受賞理由〉 日本のものづくりの技術を結集した卓球台「MOTIF」を開発した。「MOTIF」は日本の林業の知識と品質、巧みな加工技術を生かし、脚部に流線形の造形を実現している。また、東日本大震災からの復興を願い、岩手県岩泉町の材木を採用している。脚部カバーの加工には、千葉県立特別支援学校流山高等学園工業技術科木工コースの生徒も携わっている。



【優秀技術賞】

◇剛力建設

(山崎智博氏、千葉県習志野市東習志野7-1-1、TEL090・7701・8357)

〈受賞理由〉 下請けから脱却、独自に建設業の6次産業化に取り組む中、機械式駐車場鋼製平面化装置「スマートデッキ」を開発。環境にやさしい「無溶接工法とボルト構造」を基本技術とし、ワンストップで駐車場問題を解決し短期納品を実現している。



優秀技術賞部門

◇アルソナ技研

(飯高友之氏、千葉市若葉区御成台3-13-9、TEL043・312・1388)

〈受賞理由〉 災害発生時に簡単操作で水洗トイレが汲み取り式トイレに切り替わる災害時対応型便器「アルソナ」を開発・販売している。ランニングコストが殆どかからず、PRP製の為、丈夫で長持ち。災害時インフラ(上下水道)がダメージを受けてもすぐに使用できる為、全国の自治体や教育施設に多数導入実績がある。



【優秀経営賞】

◇Grow-S

(伊庭葉子氏、千葉県市川市八幡3-4-1 アクス本八幡、TEL047・325・3041)

〈受賞理由〉 発達障害を持つ子どもたちの為の学習塾「さくらんぼ教室」が2020年の創設30年を迎え、長年、発達障害教育に取り組んできた実績と専門性が評価された。公的機関からの委託事業や地域、学校、医療機関との連携により地域に貢献。またサービスの品質維持を最優先に考え、堅実・確実な教室展開で成長している。



優秀経営部門

◇医療法人社団 マザー・キー

(杉本雅樹氏、千葉県館山市北条2186-1、TEL0470・24・1135)

〈受賞理由〉 産婦人科医療施設を運営している。「日本一幸せなお産をしよう」「地域のお産を守る」を理念に今年度は延べ分娩数が1500件近くになる予定であり、これは千葉県内の出生件数の3%以上にあたる。産婦人科医の高齢化と継承者不在はグループ内に複数の医師を在籍させて相互サポート体制を整えることで地域の分娩を守り抜く環境を構築している。また乳幼児の保護者が安心して外出できるよう赤ちゃんの駅として医院の施設の一部を無償提供している。



【創業・ベンチャー賞】

◇イノビオット

(福田紘也氏、千葉市中央区中央2-5-1千葉中央ツインビル2号館7階、TEL090・5975・8201)

〈受賞理由〉 自転車事故ゼロ実現を目指した自転車安全対策アプリ「Puddle(パドクル)」を千葉工業大学、千葉大学と連携し開発している。AIアルゴリズムによる急ブレーキの高精度検知で危険地点を可視化し、目的地までの安全ルートの確認やゲームフィクションにより自転車運転時間が無駄にならない生活の実現を目指す。



創業・ベンチャー部門

◇GNN

(小川丈夫氏、千葉市市川市川1-2-12、TEL047・303・3409)

〈受賞理由〉 新活乳酸菌NN12を使ったドリンクと顆粒タイプの栄養機能食品を製造・販売している。NN12は日本をはじめ、中国、韓国、香港で特許を取得しており、多種多様な有機酸、酢酸、乳酸菌発酵物質が生成されることから順天堂大学で研究が始まり12年間の研究実績がある。



【地球環境貢献賞】

◇オカムラホーム

(金子保夫氏、千葉県八千代市大和田新田76-46、TEL047・450・3452)

〈受賞理由〉 SDGs(持続可能な開発目標)を踏まえ、地域・社会貢献を目的として様々な活動を行っている中、地球環境に配慮した住宅の建設、自然素材の利用、古材の活用、空き家の再利用などを展開している。2020年は環境に配慮した「ユーカリが丘支店」の開設、サステナブル住宅「ZOOT」の販売開始など環境配慮型経営を進展させている。



地球環境貢献部門

◇辰巳愛機

(近藤豊嗣氏、千葉県浦安市鉄鋼通り2-5-1、TEL047・318・2465)

〈受賞理由〉 非常用発電装置などに使用する負荷試験装置の開発・販売・保守と付随する発電装置の製造・販売を展開している。時代を見据えた新装置の開発で有効な特許数は国内44件、海外97件を数える。創業以来「エネルギーの自給自足」を社是とし、東日本大震災の際には被災地へのボランティアを行いながら、10年前より「負荷試験のエネルギーを貯めて、活用し、脱炭素社会とエネルギーの自給自足社会の実現」を目標に「まるる君」を開発している。



【地方創生賞】

◇紀伊乃国屋

(蛭田憲吾氏、千葉県安房郡鋸南町竜島970-6、TEL0470・55・1571)

〈受賞理由〉 鋸南町という観光地としては集客力が弱い地域であり、また新型コロナウイルス流行により観光業にとって大変厳しい環境の中「宿泊を旅の目的としていただく」という思いを全従業員で共有し、地元の魚介類を使った料理や天然温泉露天風呂などの質の高いサービスを提供している。2021年にはグランピング施設の新規オープンも予定している。

